

# 戸田市薬剤師会理事会 議事録

記録日	令和6年3月22日
記録者	染川智行

日時	令和6年3月12日	出席者	武長、野口、佐貫、小林、小澤、 鎌田、染川
場所	あおば薬局戸田公園		

## 議 題

### 1. 議題

- (1) 令和6年度戸田市薬剤師会事業計画・予算(案)について \*資料添付
- (2) 3/22 開催学術講演会について
  - ① 会員外への周知について
  - ② 質疑応答につて
  - ③ その他
- (3) その他

## 会議内容

### (1) 令和6年度戸田市薬剤師会事業計画・予算(案)について

染川会長	令和6年度事業計画について、事前に送付した資料を基に議論したいと思います。 まず重点事業についてですが、記載内容は令和5年後と同様です。これについてご意見をいただきたいと思います。
野口副会長	令和5年度と同様でよいと思います。
鎌田理事	危機管理について、地域連携強化加算の算定要件として、行政や薬剤師会と連携して薬剤師会のホームページで周知することが条件になっている。
野口副会長	戸田市と戸田市薬剤師会とは、災害協定を結んでいる。
佐貫理事	会員薬局では、薬剤師会のHPで周知すれば良いことになっている。
染川会長	会員薬局によるマスクの備蓄事業を、HP上で周知することも有効だと思う。
鎌田理事	練馬区薬剤師会のHPでは、かなり詳細にアップされている。
小澤理事	私は感染症対策の第2種協定を交わしているかどうかを、薬局及び薬剤師会のHPで周知すればよいと認識していた。

佐貫理事	埼玉県第2種協定の内容については、埼玉県のHPにアップされている。
野口副会長	HPにアップすること自体は、ハードルが下がっているので問題ないが、算定要件の詳細について確認が必要と思われる。
鎌田理事	今後Q&Aがあるので確認する。
染川会長	地域連携強化加算の算定要件等については、情報を収集し次回の理事会での継続案件とします。それでは、重点事業については令和5年度と同様ということによろしいですね。
	全会一致で承認
染川会長	一般会務計画については、いかがですか？
佐貫理事	薬学生実務実習の第IV期受け入れはありません。病院実習のみです。
染川会長	その部分については修正します。 他に特に無いようでしたら、薬学生実務実習の第IV期の記載の修正のみによろしいですね。
	全会一致で承認
染川会長	引き続き、委員会別に活動計画の説明をお願いしたいと思います。 総務委員会については、概ね前年通りです。
小林理事	広報委員会は、昨年作成したHPを、会員向けと一般市民向けの情報の充実、集客するためのコンテンツの提供、ルールに基づくメールアドレスの発行、昨年6月からの行っている活動の継続等を粛々と実行します。
鎌田理事	学術研修委員会は、基本的には前年度踏襲となります。 学術研修会以外に症例検討会を実施したいと思います。また、県薬の「オンライン研修会運営方法説明会」を参考に、より効果的な研修会のあり方を検討します。
小澤理事	保険薬局委員会は、基本的に前年通りです。 ディスカッション形式の研修を引き続き実施していきたいと思っています。
小林理事	地域連携委員会は、任期途中からの担当で正直活動の内容を十分に把握できていないので、前年通りしたいと思います。
野口副会長	それでは私のほうからお話します。今後は、スタンプラリーを地域連携委員会が主体的に実施し、アイデアを出してもらいたい。目的は、多職種との連携窓口なのでそこに移行させることが、新年度の活動になると思う。戸田地域薬剤師の会の活動をフォローすることもその一つだと思います。また会員を増やすことにも注力したい。

	<p>在宅委員会は、委員長が退職をしてしまい、任期途中から私が担当しています。</p> <p>当初は、受け皿を確保することが質的、量的に目的であったが、それはすでに達成されており、対外的なもの目を向けていかないと思います。</p> <p>危機管理委員会は、実質的活動ができていません。新年度は、これまでできなかったことをひとつひとつ実施していくことになります。特に、災害時備蓄支援がマスク以来、次のアイデアが出てこないことから事業として止まっているため、新年度はアイデアを出して事業を進めることが活動の目標になります。</p>
武長副課長	学校薬剤師委員会の活動は、例年通りです。学校薬剤師を随時募集します。
野口副会長	募集方法として、HP の活用を検討したほうがよいと思います。
佐貫理事	薬学生実務実習委員会は基本的には例年通りです。受入薬局が 1 件増えます。課題としては、地域活動が健康祭りしかないため他の活動も検討する必要がある。薬物乱用防止キャンペーンなどへの実習生の参加を検討する必要があります。
染川会長	<p>それでは委員会別活動計画についてはよろしいですか？</p> <p>全会一致で承認</p>
染川会長	<p>次に委員会別予算(案)について検討します。</p> <p>総務委員会については私から説明します。三師会及び懇親会費については、参加人数が不明なため多めに設定しています。</p>
小林理事	広報委員会は、HP 維持管理費用については現状でわかる範囲で具体的に記載しました。ステッカー作成については、詳細不明のため前年通り算定しています。
鎌田理事	<p>学術研修委員会は、基本的に前年通りです。</p> <p>そろそろ対面による研修を検討しているため、会場費を計上しています。</p>
小澤理事	保険薬局委員会は、前年通りです。
小林理事	地域連携委員会は、前年通りです。
野口副会長	<p>在宅委員会は、前年通りです。</p> <p>危機管理委員会は、前年通りです。拠点整備費については、災害拠点薬局である第一薬局へ資源を投入が必要だと思います。</p>
武長副会長	学校薬剤師委員会は、前年通りです。
佐貫理事	薬学生実務実習委員会は、前年通りです。今年は、集合実習を実施したいと考えています。

染川会長	委員会別予算(案)については、よろしいですか？  前回一致で承認
------	--

(2) 3/22 開催学術講演会について

① 会員外への周知について

鎌田理事	3/22 の学術研修については、会員外の参加について検討したい。 コロナ以前は、会員は無料、会員薬局の職員は 1,000 円、会員以外は 2,000 円を徴収し、会員外への参加を募ったことがある。
野口副会長	その枠組みの範囲であれば良いと思う。 蕨の薬剤師会の参加はどう考えるか？
鎌田理事	現状では、単位を付与しない研修は、無料で行っている。
染川会長	メーカーに頼らない研修を実施した場合、講師料等がかかるため費用の徴収についての検討が必要になる。
野口副会長	費用発生する場合は、会員は会費を徴収しているため無料、それ以外の参加者は参加費用を徴収することを検討する必要がある。
鎌田理事	ZOOM の場合は、徴収するのが難しい。
野口副会長	ただし、筋が通る答えを見つけなくてはならない。
染川会長	今回は、会員薬局の勤務薬剤師、蕨薬剤師会所属の薬剤師は参加可とする。 今後の、会員外薬剤師からの費用徴収等については継続案件とします。

② 質疑応答について

鎌田理事	今回の研修は、ウェビナーではないためチャットでの質問ができない。挙手による対面での質問になる。対面となると質問が出にくいことが予想されるが、何か良い意見はありますか？
野口副会長	以前は、挙手で行われることが多かったと思う。挙手でよいのではないかと思います。
鎌田理事	他に有効な方法が見つからないため、挙手で行うことにします。  全会一致で承認

③ その他

鎌田理事	ビデオはオフ、マイクをミュート、録画・録音は禁止で行いたいと思いますが良いですか？  全会一致で承認
------	--

(3) その他

① 向精神薬の重複処方箋の持ち込みについて(会員薬局からの情報提供)

野口副会長	会員薬局から、向精神薬の重複処方箋の持ち込みについての情報提供がありました。会員への情報共有をどのように行うか検討してもらいたい。
佐貫理事	偽造処方箋ではないため、現場で見つけることは難しい。
野口副会長	偽造ではないため具体的な情報(処方箋原本等)は出せないが、会員薬局への注意喚起は必要だと思う。
染川会長	近日中に、会員薬局への注意喚起のメールを発出します。

② 会員専用ホームページのパスワードの周知について

染川会長	会員専用 HP のパスワードについて、会員への周知方法を検討したい。
野口副会長	全会員へメールで周知したほうが良いと思う。
染川会長	近日中に、全会員へメールでパスワードを通知します。

③ メールアドレスの提供について

染川会長	前回の理事会での議題で、会員個人のメールアドレスの把握及び(@todayaku.com)の提供方法について進捗状況はどのようになっていますか。
野口副会長	グーグルフォームを利用し、今月中に全会員から個人のメールアドレスの提供か、(@todayaku.com)の発行希望の確認を実施します。その結果を共有したいと思います。
鎌田理事	委員会独自のメールアドレスの発行についてはどうなっていますか？
野口副会長	委員会、事業ごとに発行ができることをインフォメーションします。

決定事項

- 令和6年度戸田市薬剤師会事業計画(案)
- 令和6年度戸田市薬剤師会予算(案)
- 学術講演会開催方法(3月22日)
- 向精神薬の重複処方箋の持ち込み事案の会員への情報提供方法

- HP の会員専用ページパスワードの周知方法
- 会員全員のメールアドレスの把握及び(@todayaku.com)の提供方法

## 検討事項

- (1) 地域連携強化加算の算定要件の情報収集し、必要に応じて HP の活用検討
- (2) 学校薬剤師募集において HP の活用検討
- (3) 学術研修会において非会員からの費用徴収方法検討
- (4) 会員のあり方について(市薬、県薬、日薬)
- (5) 医薬品流通の改善 休日の備蓄薬について
- (6) 休日当番について
- (7) 会員薬局の麻薬備蓄・薬局間の零売等
- (8) 注射針回収
- (9) 戸田市薬剤師の掘り起こし
- (10) 新たな会員区分の創設
- (11) 戸田中央病院以外の病院との薬薬連携
- (12) 会営薬局の設立
- (13) 蕨市薬剤師会との合併